

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	有田川町 宮川	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	有田川町 宮川 平畑 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、令和6年10月豪雨により山腹崩壊が発生した箇所である。このため、山腹工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	復旧治山事業	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 23 点
(4) 担当部課	森林整備課		
(5) 総事業費	207 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度～令和9年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	山腹工0.13ha	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 23点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	山腹崩壊地の復旧、不安定土砂の除去	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	地球温暖化の防止	なし
	② 効果発現のポイント	崩壊地復旧による周辺生態系の改善	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	山腹崩壊の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 崩壊地の復旧・不安定土砂の除去を図ることから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	354,347 千円
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
		・ 水源涵養便益	5,116 千円
		・ 災害防止便益	349,231 千円
		・	千円
	② 費用	[現在価値合計]	193,424 千円
	③ 分析結果	[費用便益比]	1.83 [純現在価値] 160,923 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名	林野公共事業における事前評価マニュアル	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討		
<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)		
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、山腹崩壊による不安定土砂の除去、山腹復旧を図る事業であり、森林の持つ災害防止機能を高度発揮するため必要である。 また、受益対象(人家、道路等)への土砂等の流出防止を図るもので、災害の未然防止のためには必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	日高川町 藤野川	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	日高川町 藤野川 一の谷 外 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、度重なる豪雨等により、溪流が荒廃した箇所である。このため、溪間工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	復旧治山事業	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 23点
(4) 担当部課	森林整備課		
(5) 総事業費	107 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 溪間工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	谷止工4基 護岸工	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 23点 → 7点 [効果の大きさ]	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	荒廃溪流の改善と堆積土砂の抑止	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	リサイクルの促進	なし
	② 効果発現のポイント	間伐材等の農林水産品副産物の利用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	荒廃溪流の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 不安定土砂の抑止並びに溪岸侵食の防止を図ることから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象 <input type="checkbox"/> 分析対象外	[現在価値合計] 218,663 千円
	② 費用		[現在価値合計] 103,400 千円
	③ 分析結果		[費用便益比] 2.11 [純現在価値] 115,263 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名		林野公共事業における事前評価マニュアル
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	

4. 環境的側面の妥当性

(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない <input type="checkbox"/> 影響事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

5. 県が実施することの妥当性

(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり <input type="checkbox"/> 協力なし	(地元協力の内容等を記入) 工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
	<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該事業は、荒廃溪流を復旧することで、森林の持つ災害防止機能の高度発揮となるため、事業実施が必要である。また、受益対象(人家、道路等)への土砂・流木の流出を防止するために必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	印南町 古屋	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	印南町 古屋 瀬谷 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、度重なる豪雨等により、溪流が荒廃した箇所である。このため、溪間工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	復旧治山事業	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 23点
(4) 担当部課	森林整備課		
(5) 総事業費	84 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度～令和9年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 溪間工、山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	床固工1基 嵩上工 流路工、山腹工0.03ha	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 23点 → 5点 [効果の大きさ]	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	荒廃溪流の改善と堆積土砂の抑止	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	リサイクルの促進	なし
	② 効果発現のポイント	間伐材等の農林水産品副産物の利用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	荒廃溪流の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 不安定土砂の抑止並びに河岸侵食の防止を図ることから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象 <input type="checkbox"/> 分析対象外	[現在価値合計] 598,960 千円
	② 費用		[現在価値合計] 80,297 千円
	③ 分析結果		[費用便益比] 7.46 [純現在価値] 518,663 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名		林野公共事業における事前評価マニュアル
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	

4. 環境的側面の妥当性

(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない <input type="checkbox"/> 影響事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

5. 県が実施することの妥当性

(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり <input type="checkbox"/> 協力なし	(地元協力の内容等を記入) 工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
	<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該事業は、荒廃溪流を復旧することで、森林の持つ災害防止機能の高度発揮となるため、事業実施が必要である。また、受益対象(人家、道路等)への土砂・流木の流出を防止するために必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	紀美野町 円明寺	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	紀美野町 円明寺 居垣内 地内	(8) 事業の狙い	当該施工地は、直下に町道があり、地域住民から町道への落石の防止を強く求められている。このため既設落石防護柵工の老朽化した緩衝材を交換するものである。
(3) 事業名	緊急機能強化・老朽化対策事業	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 19点
(4) 担当部課	森林整備課		
(5) 総事業費	102 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度～令和9年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	山腹工0.02ha 落石防護柵(緩衝材交換)	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 19点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	落石防護柵の老朽化した緩衝材を取り換えることで施設の最大効果が期待できる	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	リサイクルの促進	なし
	② 効果発現のポイント	間伐材等の農林水産品副産物の利用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	既存の落石防護柵工の緩衝材の取換え工事であるので、古タイヤ等の代替も考えられるが、紀州材の利用促進の観点から代替案は検討していない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 既存の落石防護柵の緩衝材の取換えであり妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象 <input checked="" type="checkbox"/> 分析対象外	[現在価値合計] 千円 [主な内訳] ・ 災害防止便益 千円 ・ 千円 ・ 千円
	② 費用		[現在価値合計] 千円
	③ 分析結果		[費用便益比] [純現在価値] 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名		
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない <input type="checkbox"/> 影響事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし			
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている
<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当		(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
<input type="checkbox"/> その他		(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり <input type="checkbox"/> 協力なし	(地元協力の内容等を記入) 工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり <input type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
	<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該事業は、既存、落石防護柵工の緩衝材を取換え、施設の機能向上を図るため必要である。また、受益対象(人家、道路等)への落石等を防止するため必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	紀美野町 円明寺	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	紀美野町 円明寺 居垣内 地内	(8) 事業の狙い	当該施工地は直下に人家があり、地域住民から落石防止を強く求められており、早急な対策が必要である。
(3) 事業名	予防治山	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 19点
(4) 担当部課	森林整備課		
(5) 総事業費	30 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	山腹工0.01ha 落石防護柵	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 19点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	山林内に点在する不安定な転石が落下した際に、防護柵で待ち受ける	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	生態系の保全	なし
	② 効果発現のポイント	極力立木を伐採しない工法であるため、生態系・野生動物の生息域を破壊しない。	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	山林内に点在する不安定な転石を落石防護柵で待ち受けることから、直下保全対象の人家への被害の防止のため最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 山林内に点在する不安定な転石が下方の人家へ落下することを防止するため妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	470,548 千円
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
		・ 水源涵養便益	122,533 千円
		・ 災害防止便益	348,015 千円
		・	千円
	② 費用	[現在価値合計]	55,676 千円
	③ 分析結果	[費用便益比]	8.45 [純現在価値] 414,872 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名	林野公共事業における事前年評価マニュアル	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討		
<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)		
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、山林内に点在する不安定な転石を落石防護柵で待ち受けるものであり、受益対象(人家、道路等)への落石等を防止するため必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	紀美野町 毛原中	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	紀美野町 毛原中 棚原 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、度重なる豪雨等により、溪流が荒廃した箇所である。 このため、溪間工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	予防治山		
(4) 担当部課	森林整備課	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 21点
(5) 総事業費	15 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 溪間工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	床固工1基、流路工	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 21点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	荒廃溪流の改善と堆積土砂の抑止	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	リサイクルの促進	なし
	② 効果発現のポイント	間伐材等の農林水産品副産物の利用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	荒廃溪流の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 不安定土砂の抑止並びに溪岸浸食の防止を図ることから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象 <input type="checkbox"/> 分析対象外	[現在価値合計] 329,469 千円
			[主な内訳] ・ 水源涵養便益 329,469 千円 ・ 千円 ・ 千円
	② 費用		[現在価値合計] 27,340 千円
	③ 分析結果		[費用便益比] 12.05 [純現在価値] 302,129 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名		林野公共事業における事前年評価マニュアル
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし		
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり <input type="checkbox"/> 協力なし	(地元協力の内容等を記入) 工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、荒廃溪流を復旧することで、森林の持つ災害防止機能を高度発揮するため必要である。また、受益対象(人家、道路等)へ土砂・流木の流出を抑制するために必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	紀の川市 神通	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	紀の川市 神通 東谷 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、度重なる豪雨等により、溪流が荒廃した箇所である。このため、溪間工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	予防治山事業		
(4) 担当部課	森林整備課	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 23点
(5) 総事業費	66 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度～令和9年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 溪間工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	谷止工3基、床固工1基	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 23点 → 5点 [効果の大きさ]	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	荒廃溪流の改善と堆積土砂の抑止	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	リサイクルの促進	なし
	② 効果発現のポイント	間伐材等の農林水産品副産物の利用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	荒廃溪流の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 不安定土砂の抑止並びに渓岸浸食の防止を図ることから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	<input type="checkbox"/> 事業内容の組み合わせ	
		<input type="checkbox"/> 主な事業内容の位置・ルート	
	<input type="checkbox"/> 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)	

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	232,989 千円
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
		・ 水源涵養便益	58,347 千円
		・ 災害防止便益	174,642 千円
		・	千円
	② 費用	[現在価値合計]	58,169 千円
	③ 分析結果	[費用便益比]	4.01 [純現在価値] 174,820 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名	林野公共事業における事前評価マニュアル	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討		
<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)		
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、荒廃溪流を復旧することで、森林の持つ災害防止機能を高度発揮のため必要である。また、受益対象(道路等)へ土砂・流木の流出を防止するために必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	有田川町 東大谷	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	有田川町 東大谷 田ノ尾 地内	(8) 事業の狙い	当該施工地は、山林内に風化が著しい岩盤や不安定な転石が点在している。 このため、山腹工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	予防治山事業		
(4) 担当部課	森林整備課	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 21 点
(5) 総事業費	110 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度～令和9年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	山腹工0.15ha 固定工	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 21点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	風化岩盤・不安定転石の固定、破砕除去	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	生態系の保全	なし
	② 効果発現のポイント	極力立木を伐採しない工法を採用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	林内に点在する風化岩盤及び不安定転石を固定又は破砕除去するという直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 風化岩盤及び不安定転石等が点在している山林を全て復旧・予防することから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象 <input type="checkbox"/> 分析対象外	[現在価値合計] 113,441 千円
	② 費用		[現在価値合計] 103,391 千円
		③ 分析結果	[費用便益比] 1.10 [純現在価値] 10,050 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名	林野公共事業における事前評価マニュアル	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし		
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり <input type="checkbox"/> 協力なし	(地元協力の内容等を記入) 工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり <input type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
	<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該事業は、山林内の風化岩盤及び不安定転石の除去・固定を図る事業であり、受益対象(人家、道路等)への落石の防止を図るもので、災害の未然防止、軽減のためには必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	印南町 古井	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	印南町 古井 黒ノ谷 外 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、度重なる豪雨等により、溪流が荒廃した箇所である。このため、溪間工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	予防治山事業	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 15点
(4) 担当部課	森林整備課		
(5) 総事業費	36 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 溪間工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	流路工	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 15点 → 5点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	荒廃溪流の改善と溪岸侵食の防止	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	リサイクルの促進	なし
	② 効果発現のポイント	間伐材等の農林水産品副産物の利用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	荒廃溪流の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 溪岸侵食を防止し、不安定土砂の発生を防ぐことから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	44,910 千円
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
		・ 水源涵養便益	4,110 千円
		・ 災害防止便益	40,800 千円
		・	千円
	② 費用	[現在価値合計]	36,272 千円
	③ 分析結果	[費用便益比]	1.24 [純現在価値] 8,638 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名	林野公共事業における事前評価マニュアル	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討		
<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)		
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、荒廃溪流を復旧することで、森林の持つ災害防止機能の高度発揮となるため、事業実施が必要である。また、受益対象(人家、道路等)へ土砂・流木の流出を防止するために必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	田辺市 本宮町皆瀬川	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	田辺市 本宮町皆瀬川 十九良谷 地内	(8) 事業の狙い	当該施工地は、山林内に風化が著しい岩盤や不安定な転石が点在している。このため、山腹工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	予防治山事業		
(4) 担当部課	森林整備課	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 21点
(5) 総事業費	101 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	山腹工 0.03ha 固定工、被覆工、除去工	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 21点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	風化岩盤・不安定転石の固定	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	生態系の保全	なし
	② 効果発現のポイント	極力立木を伐採しない工法の採用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	山林内に点在する風化岩盤及び不安定転石を固定するという直接的な発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 風化岩盤及び不安定な転石等が点在している山林を全て復旧・予防することから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	290,366 千円
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
		・ 水源涵養便益	974 千円
		・ 災害防止便益	289,392 千円
		・	千円
	② 費用	[現在価値合計]	93,714 千円
	③ 分析結果	[費用便益比]	3.10 [純現在価値] 196,652 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名	林野公共事業における事前評価マニュアル	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討		
<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)		
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、山林内の風化岩盤及び不安定転石の固定を図る事業であり、受益対象(人家、道路等)への落石の防止を図るもので、災害の未然防止、軽減のためには必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	那智勝浦町 天満	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	那智勝浦町 天満 尼ヶ谷 地内	(8) 事業の狙い	当該施工地は、山林内に風化が著しい岩盤や不安定な転石が点在している。このため、山腹工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	予防治山事業	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 21点
(4) 担当部課	森林整備課		
(5) 総事業費	39 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度～令和9年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	山腹工 0.03ha 固定工	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 21点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	風化岩盤・不安定転石の固定	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	生態系の保全	なし
	② 効果発現のポイント	極力立木を伐採しない工法の採用	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	山林内に点在する風化岩盤及び不安定転石を固定するという直接的な発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 風化岩盤及び不安定な転石等が点在している山林を全て復旧・予防することから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	74,085 千円
	<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
		・ 水源涵養便益	13,938 千円
		・ 災害防止便益	60,147 千円
		・	千円
	② 費用	[現在価値合計]	34,500 千円
	③ 分析結果	[費用便益比]	2.15 [純現在価値] 39,585 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
	⑤ 参考資料名	林野公共事業における事前評価マニュアル	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討		
<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)		
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、山林内の風化岩盤及び不安定転石の固定を図る事業であり、受益対象(人家、道路等)への落石の防止を図るもので、災害の未然防止、軽減のためには必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	かつらぎ町 花園中南	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	かつらぎ町 花園中南 西手 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、既設水路工の老朽化により今後山林の荒廃が予想される箇所である。このため、山腹工の施工により山林の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	機能強化・老朽化対策事業		
(4) 担当部課	森林整備課	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 21点
(5) 総事業費	11 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 山腹工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	山腹工0.02ha 水路工	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 21点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	老朽化した水路工の復旧	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	なし	なし
	② 効果発現のポイント	なし	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	老朽化した水路工の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標※1)との関係から説明) 老朽化した水路工を全て復旧することから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 代替案あり	事業内容の組み合わせ 主な事業内容の位置・ルート 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標※1)との関係から説明)

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象 <input checked="" type="checkbox"/> 分析対象外	[現在価値合計] 千円
			[主な内訳]
			・ 水源涵養便益 千円
			・ 災害防止便益 千円
			・ 千円
② 費用			[現在価値合計] 千円
③ 分析結果			[費用便益比] [純現在価値] 千円
④ 分析結果に関する特記事項			
⑤ 参考資料名			
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし		
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり <input type="checkbox"/> 協力なし	(地元協力の内容等を記入) 工事等に関する土地使用承諾を得ている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、老朽化した水路工を復旧することで、森林の持つ災害防止機能を高度発揮するため必要である。また、受益対象(人家、道路等)へ土砂・流木の流出を防止するために必要な事業であり妥当である。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	かつらぎ町 花園中南	(7) 施策目標	(12)森林の保全による山地災害の防止・水資源の確保
(2) 施工場所	かつらぎ町 花園中南 谷ノ瀬 地内	(8) 事業の狙い	当該施行地は、既設谷止工の老朽化により今後渓床の荒廃が予想される箇所である。このため、谷止工の増厚施工により渓床の復旧・保全を図ると共に受益対象を保全する。
(3) 事業名	機能強化・老朽化対策事業		
(4) 担当部課	森林整備課	(9) 事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)	[指標名] 緊急性・必要性 [指標値、現象] 緊急性 17点
(5) 総事業費	25 百万円		
(6) 事業期間	令和8年度		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 溪間工 [他の事業内容]	[主な事業内容] なし [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート		
	③ 主要な事業内容の規模	谷止工増厚	なし
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 緊急性 [効果の大きさ] 17点 → 7点	[指標名] なし [効果の大きさ] なし
	② 効果発現のポイント	老朽化した谷止工の復旧	なし
(3) 副次効果	① 主な副次効果	なし	なし
	② 効果発現のポイント	なし	なし
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	老朽化した谷止工の復旧という直接の発生源対策であることから、災害の未然防止策としては最良である。
		主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 老朽化した谷止工を復旧することから妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 事業内容の組み合わせ	
<input type="checkbox"/> 主な事業内容の位置・ルート			
<input type="checkbox"/> 主な事業内容の規模		(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)	
<input type="checkbox"/> 代替案あり			

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計] 千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳] ・ 水源涵養便益 千円 ・ 災害防止便益 千円 ・ 千円
	② 費用	[現在価値合計] 千円	
	③ 分析結果	[費用便益比] [純現在価値] 千円	
	④ 分析結果に関する特記事項		
⑤ 参考資料名			
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし		
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 森林法第41条の規定により国・県が実施できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入) 事業の実施箇所が民有林かつ保安林であることから、県で実施する。
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input type="checkbox"/> 協力あり <input checked="" type="checkbox"/> 協力なし	(地元協力の内容等を記入) 工事等に関する土地使用承諾の取得を要する。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	(検討事項ありの場合、その内容を記入)

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当		
総合所見	当該事業は、老朽化した谷止工を復旧することで、森林の持つ災害防止機能を高度発揮のため必要である。また、受益対象(人家、道路等)へ土砂・流木の流出を防止するために必要な事業であり妥当である。	